

第8期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

保険者名	責自治体において第8期介護保険事業計画に記載している内容						令和3年度(年度末実績)			
	項目名	細目名	目標を設定するに至った「現状と課題」	第8期計画における「取組」	「目標」(事業内容、指標等)	中間見直し	取組の具体的な実施内容、実績	自己評価	評価の理由	課題と対応策
ときがわ町	②給付適正化	給付実績の活用による適正化				なし	未実施	×	適正化に向けた取り組みとしては、主要5事業の取組を中心に実施。人員が少ない上に、近年職員の異動により担当が定着しないこともあり、後手に回っている。	令和5年度末までの実施を目指す
ときがわ町	①自立支援・介護予防・重度化防止	介護予防事業の実施	本町では今後ますます少子高齢化が進み、令和17年には高齢化率は50%を超えることが見込まれている。 早期からの予防が重要であることから、高齢者サロンへの参加や介護予防事業への参加促進が一層重要であると考え。 介護予防事業や高齢者サロンを充実させることで介護予防、重度化防止の普及啓発を図る。	《足腰らくらく教室》 生活機能の低下がみられる方を対象に運動を主とした教室を実施する。 《高齢者サロン》 認知症、閉じこもり予防を主な目的とし町内6カ所です定期的に開催する。	《延べ参加人数》 R3 R4 R5 足腰らくらく教室(3会場) 685 696 705 高齢者サロン 憩いの場 540 540 540 やすらぎの場 168 168 168	なし	足腰らくらく教室:未実施 憩いの場: 通常の内容の実施はなし。 参加者にテーマ付きのメッセージカードを配布し、指定した日時に貼りに来てもらう「よせ書きプロジェクト」を1回実施した。 やすらぎの場:参加者を対象にインタビューを実施。その様子と、自宅でできる体操や脳トレ動画を収録したDVDを配布した。 その他、理学療法士監修の下、介護予防体操の動画を作成し、配信及び収録DVDを希望者に配信した。	△	コロナ禍のため、集団を対象とした教室、サロンは実施せず。一部、コロナ禍を考慮した介護予防プログラムを提供した。	令和4年度から、感染予防策を講じた上で教室・サロンを再開していく。
ときがわ町	①自立支援・介護予防・重度化防止	介護予防事業の実施	本町では、独居高齢者が増加傾向にある。 また、訪問活動を通し、日常的に親族等の支援を受けることが困難な高齢者が散見される。 そのため、支援を要する状態でありながら、必要な支援・サービスにつなげていない高齢者を把握する必要がある。	高齢者状況把握訪問	支援を要する者を把握する目的で、嘱託の保健師・看護師が通年で訪問活動を行う。 アセスメントの結果、必要に応じて、介護予防事業・地域の通いの場・各種サービス等の案内を行う。	なし	訪問:123件 電話での状況把握:30件	○	新型コロナウイルス感染症拡大時は電話による状況把握に切り替えて実施した。担当する看護職が、ワクチン接種事業も並行して従事しなければならず、例年に比べると訪問件数は減少した。	令和4年度から、徐々に訪問件数を増やしていく。
ときがわ町	②給付適正化	介護認定の適正化 ケアプランの点検	新型コロナウイルス感染予防による面会禁止や、新規申請の増加に伴い、認定調査の委託数も増加傾向である。 介護サービスの利用にあたっては、全ての高齢者が必要なサービスを適切に利用できるよう、介護給付適正化に関する取り組みが重要となる。	《介護認定の適正化》 変更認定または更新認定に係る認定調査の内容について、訪問または書面等の審査を通じて点検することにより、適切かつ公平な要介護認定の確保を図る。 《ケアプランの点検》 居宅支援サービス計画の点検及び支援をすることで、個々の受給者が真に必要なサービスを提供するとともに、その状態に適していないサービス提供を改善する。	《介護給付費の適正化》 調査件数 R3 R4 R5 520 525 530 《ケアプランの点検》 実施件数 25 30 35	なし	・介護給付費の適正化 委託した19件を含むすべての認定調査について点検を行い、不適切な部分については是正を求め、改善されました。 ・ケアプランの点検 令和3年度中に100件のケアプランを点検し、是正を促しました。	○	・介護給付費の適正化 委託19件を含む438件が適切に改善された。 ・ケアプランの点検 目標値25件を上回る100件のケアプラン点検を実施。介護予防については、委託したケアプランを直営の地域包括支援センターにおいて全件点検。	適正化主要5事業については、他の事業も実施しているが、今後は給付実績を活用し、さらに適正化に努める必要があると考える。